



〈会員の窓 9〉

摂南大学・淀川愛好会の最近の動きとこれから

総務 石田 裕子

私が淀川愛好会に関わり始めたのは、摂南大学に着任してからのため、多くの会員のみなさまよりも日が浅く、この欄で書いてこられた方々のように過去を振り返れるところまではいっていません。ですが、この5年にも淀川愛好会に深く関わっている摂南大学の状況は大きく変わってきました。まず、私が2008年に着任した工学部都市環境システム工学科は、2010年に学部の名称変更に伴い（理工学部に変更）、都市環境工学科という名称で新設されました。学部内では同時に生命科学科と住環境デザイン学科が新設され、私も生命科学科に異動となりました。現在は、2014年の大学院の改組・新設に向けて、教職員一同邁進しているところです。このことは淀川愛好会にも無関係ではなく、これまで淀川愛好会にご尽力いただいていた2人の先生方が2013年度末に退職される予定です。

2014年の新しい体制に向けて、淀川愛好会では今年、5年ぶりに事務局の体制が変わります。今号でもご紹介していますように、会計を摂南大学理工学部都市環境工学科の瀬良昌憲先生にお願いし、総務の補佐として私が入ることになりました。また、これまで1年間に渡って総務を担当していただいた都市環境工学科澤井ゼミ4年生の中根広宣くんの卒業に伴い、澤井ゼミ新4年生の森川洋介くんに参加していただきました。新メンバーで今年1年間これまでの活動に劣らぬよう進めていく所存です。

淀川愛好会の活動には、会員のみなさまの支えが欠かせません。どうぞこれからも、これまで以上に活動にご協力いただけますようよろしくお願いいたします。

（摂南大学理工学部 生命科学科 生態環境学研究室 講師）



2008年に着任した年の秋のイベントで収穫した松茸。この松茸をみんなで焼いて食べた味は格別でした。

イベント案内（詳細は4ページ）

淀川愛好会 春のイベント 2013

淀川愛好会「春のイベント」を下記のように開催いたします。今年も、おお川水辺クラブとの共同開催で、午前中大川清掃と桜之宮貯木場跡地で生きもの調査を行い、昼食の後に、2011年度に大阪府の「ふれあいの水辺事業」で完成した大川貯木場跡の砂浜でEボートの乗船体験を行います。多数のご参加をお待ちしています。

日時：2013年4月27日（土）10:00～15:00 集合場所：JR桜ノ宮駅南西 大川右岸 帝国ホテル前



ホタル観賞会

昨年に引き続き、今年もホタル観賞会を開催します。毎年お世話になっている交野市南星台の見学、関西創価学園主催の観賞会に参加する予定です。今年も多くのホタルが見られることを期待し、皆様と一緒に、楽しくホタル観賞できればと思います。

日時：6月8日（土） 19:00～21:00 集合場所：関西創価学園正門前

淀川愛好会 総会・新年会

1月11日(金)に寝屋川市の「酒処かつみ」にて開催しました。22人の会員が参加し、2012年度の活動報告および2013年度の事業計画の発表を行いました。

会員が各自の近況報告や今年の抱負を、また新社会人は進路についてなど語り合いました。

2012年度の事業報告

日程	内容	開催場所
4月29日(日)	春のイベント	毛馬桜之宮公園・大阪ふれあいの水辺
6月9日(土)	ホテル観賞会	関西創価学園・交野市南星台
7月28日(土)・29日(日)	夏のイベント	武庫川(宝塚市)
11月24日(土)	秋のイベント	石川河川公園・弘川寺・滝畑ダム
1月11日(金)	総会・新年会	寝屋川市(酒処かつみ)
2月16日(土)	淀川討論会	摂南大学

2013年度の事業計画

日程	内容	開催場所
4月27日(土)	春のイベント	毛馬桜之宮公園・大阪ふれあいの水辺
6月8日(土)	ホテル観賞会	関西創価学園・交野市南星台
7月27日(土)・28日(日)	夏のイベント	由良川(福知山市)
秋ごろ予定	秋のイベント	検討中
1月11日(土)	総会・新年会	寝屋川市
3月8日(土)	淀川討論会	摂南大学

第15回 淀川討論会

(兼 環境用水研究会淀川左岸部会 第17回研究会)

2月16日(土)に摂南大学11号館スカイラウンジで淀川討論会を開催し、全体で約50名の方に参加いただきました。

今回は、「災害、資源、環境問題を通してライフスタイルを考える」をテーマに、京都大学防災研究所助教・張浩氏による国内の宇治市、紀伊半島についての他、中国北京における近年の水害についての講演が行われました。続いて、摂南大学工学部3回生・正岡聡さんによる昨年8月14日に起きた豪雨災害で、寝屋川市での被害についての発表がありました。地元の話題であったからか最も参加者の注目が集まった発表となりました。次に、(株)日立エンジニアリング・アンド・サービス・楠田尚史氏から8月14日の寝屋川市の災害のシミュレーションについての説明がありました。元摂南大学薬学部教授・相本太刀夫先生による現在の地球で起こっている様々な問題についての講演の後、内外エンジニアリング(株)・上野裕士氏による環境用水研究会が編集した「環境用水」の新刊紹介がありました。さらに、災害時の避難対策について摂南大学大学院・小笠原裕介さんと楠田尚史氏の講演が行われました。

討論会後、同会場で懇親会を催し、参加者間の交流を深めました。



新年会の様子

2013年度の役員

顧問	井上 治
会長	道廣 一利
副会長	今堀 淨
	綾 史郎
総務	澤井 健二
	石田 裕子
	小川 芳也
	森川 洋介
会計	瀬良 昌憲
広報	熊谷 樹一郎
監査	藤田 孝志
	北邑 祐樹
編集長	相本 太刀夫



昨年8月14日の
寝屋川市駅付近



正岡さんの発表での
質疑応答

相本太刀夫先生の講演内容

相本先生は、薬学が専門ですが、日頃から私たちの星、地球が抱えている様々な問題に大きな関心を持たれ、専門家による書籍やいろいろなメディアなどからの沢山の情報を集められ、それらを基に今この星で起きている深刻な問題を整理されました。そして今回、これらの問題をすべての人たちと共有し、これから私たちがどのようにこれらの問題に対処していかなければならないということについて講演をしていただきました。

最初は、私たちが生命を営むために恩恵を被っている太陽のエネルギーについての話がありました。その中で、地球には太陽から発せられているエネルギーの22億分の1しか届いていないが、私たち人類が現在消費している総エネルギーは、太陽から降り注ぐエネルギーのたったの1万分の1程度分ではないなど、太陽から地球に降り注ぐエネルギーの膨大さについて話されました。

次に、地球温暖化に伴う環境変化について、IPCC報告書の内容を基にして説明がありました。温暖化に関しては、原因とされている温室効果ガスの種類や性質、それらの温暖化への寄与程度や主な発生源、そして温暖化への関与が最も大きいとされている二酸化炭素（CO₂）を固定する森林や海洋水などの自然環境変動について説明されました。

なお、気温の上昇だけでなく、人類の排出した化学物質や地球の温室効果によって引き起こされる具体的な災害についても述べられました。その例として、干ばつ、洪水、海面上昇、中国のスモッグ、黄砂やPM2.5といった私たちの健康に極めて深刻な影響を与えると考えられている環境問題が挙げられました。そして、地球の長い活動で造られてきた氷河が崩壊し、サンゴ礁が死滅している現状を、そしてそれらは最早簡単に原状に復帰できないであろうことなども述べられました。

さらに原子力発電について、建設、運転、そして後始末に係るコスト、放射性廃棄物処理の問題点や危険性などについて先生の私見も交えられて話されました。

最後に、人類全体の食糧問題について、世界の先進国と発展途上国との食糧の格差について述べられました。とくに、賞味期限が切れたからすぐに廃棄するというような食糧を無節操にそして贅沢に扱う先進国の酷さについても述べられました。

私たちの現在の生活スタイルを、今さら、例えば、江戸時代の完全な循環型の生活に戻すことはおそらくできないことであろう、そこで、地球にやさしい社会に向けて、最終的に行動を起こさねばならないのは自分自身だということを厳粛に受けとめ、よく考えて行動すべきであるという非常に考えさせられる内容の講演でした。



新刊紹介

秋山道雄・澤井健二・三野徹 編著「**環境用水**—その成立条件と持続可能性」
(技報堂出版 2012年12月発行 著者紹介価格2700円、通常価格2940円)

淀川愛好会と深い関わりのある環境用水研究会で編集された新刊書籍を紹介します。

この本は、環境用水の制度や実践に関する知見が集積されてくる過程で、1990年代以降の環境用水をめぐる課題と、環境用水の制度化が果たす役割に関する資料が必要であると判断して、それに関する研究活動の成果の一端をまとめたものです。



大和川・石川クリーン作戦

3月3日(日)に大阪府下の大和川流域で行われました。いくつかある会場のうち、本会はメイン会場である富田林市へ行きました。開会式の後、澤井健二先生から大和川市民ネットワークについての紹介がありました。次に、地元の小学生による石川についての民話の朗読がありました。早朝からの清掃活動にも関わらず大勢の参加があつて多くのゴミを回収できました。また、本会からEボートの展示と乗船を行い、参加者との交流も図りました。子供たちの乗船が多く、流れが速かったので大変でしたが、みんなが一丸となって漕ぐことはとても楽しかったです。



子ども達との乗船

今後のイベント詳細

淀川愛好会 春のイベント2013

「大川クリーン活動&生物調査&Eボート体験」

日時：2013年4月27日(土) 10:00～15:00 (9:30受付)

共催：淀川管内河川レンジャー、淀川愛好会、

近畿子どもの水辺ネットワーク、おお川水辺クラブ

集合場所：帝国ホテル東側（JR線 桜ノ宮駅南西の源八橋を渡って川沿いを南へ約150m）

内容：10:00～ 清掃

11:30～ 生きもの観察および昼食（大阪ふれあいの水辺）

13:00～ Eボート乗船（大阪ふれあいの水辺） 14:00～ 片付け

参加費：無料(昼食持参)

申込先：淀川愛好会事務局 〆切：4月20日(土)



ホタル観賞会

日時：2013年6月8日(土) 19:00～21:00

主催：関西創価学園

集合場所：関西創価学園正門前(交野市寺3-20-1)

参加費：無料

申込先：淀川愛好会事務局 〆切：6月1日(土)

《交通手段》

1) 京橋駅→河内磐船駅(JR学研都市線)→徒歩20分

2) 枚方市駅→河内森駅(京阪交野線)→徒歩20分



〈会員の窓 10〉

川への想い

山本晃平

みなさんこんにちは。私は摂南大学エコシビル部の山本といいます。いきなりですが、みなさんにとって「川」はどうあるべきだと思いますか。人それぞれいろんな意見があるかと思います。それでも、「きれいな川であってほしい」とは誰もが思うことではないでしょうか。私はこの部活で、様々な水辺のイベントに参加し、いろんな川を見てきました。川にもきれいな川、汚い川、いろいろあります。やはり、きれいな川でボートに乗り、自然と触れ合うことはとても気持ちの良いもので、心が安らぎます。しかし、残念ながらそのようなきれいな川はどこにでも存在するわけではありません。これってどうなのでしょう。当たり前かもしれませんが、当たり前であってはいけないと思います。汚い川ももう少しきれいになってくれたら。じゃあ私たちにできることは一体何か。それは、地域のみなさんに「川」を感じてもらい、「きれいな川であってほしい」と思ってもらえるように働きかけることです。是非私どもの運航するボートに乗ってみてください。「川」を身近に感じた上で、一人一人が「川」を大切に思うようになってくれれば、と私は願っています。

(摂南大学理工学部 生命科学科 新4回生)

会費納入のお願い

会員の方は、今年度の年会費(3000円、学生は1500円)を納入してください。お願いします。

下記の口座にお振り込み下さい。

郵便振替口座：00920-6-116036 加入者名：淀川愛好会

銀行振込口座：りそな銀行 寝屋川支店 普通預金 口座番号：2230030 口座名義：淀川愛好会

編集後記

桜の花便りが聞かれる、そして若者たちが社会に巣立っていく季節がやってきました。小生が本NEWSの編集に関わるようになって5回目(本号)の編集を先日無事終えることができました。これも、澤井教授研究室の中根広宣君(学部卒業、就職先：株式会社 岡部)、小笠原裕介君(大学院修了、就職先：社団法人 近畿建設協会)らの惜しみないご協力があったからこそできたことだと思っています。彼らのご協力に感謝するとともに社会への門出を祝し、今後のさらなるご健闘を祈念します。 編集長 相本太刀夫(元摂南大学薬学部教授)

淀川愛好会事務局：〒572-8508 寝屋川市池田中町 17-8 摂南大学理工学部都市環境工学科 澤井教授室内 TEL/FAX：072-839-9124 携帯電話：090-2196-9594 (澤井)

HP：http://www.setsunan.ac.jp/civ/yodoric

E-mail：sawai@civ.setsunan.ac.jp(澤井) または 101068my@edu.setsunan.ac.jp(森川)